

2018年11月13日

パスロジ株式会社

アーカイブ領域のファイルが、ストレージ空き領域を圧迫する場合の対処方法

< 対象バージョン >

PassLogic-ent 3.0.0 及びそれ以前のバージョン

< 問題となる事象の発生条件 >

PassLogic のデータベースが冗長化されている場合に、データベース（特にログテーブルやセッションテーブル）の同期ズレが発生した状態で、delete 処理が実行されると、アーカイブ領域のファイルが増加してしまい、1日一回の削除処理では追いつかず、disk full に陥る問題が確認されております。

disk full となった場合はサービス停止となるため、早急な一次対処が必要になります。

* 本問題の発生を早期に発見し、障害の発生を未然に防ぐために、データベースのログ容量の増加を監視いただくことをお勧めします。

< 一次対処の方法 >

/opt/passlogic/pgsql/archives/ 以下の領域のファイルが、
ストレージ空き領域を圧迫する場合、

以下の 1) - 3) のいずれかの対処を、両方の認証サーバで実行後、
PassLogic のサポート窓口にお問い合わせください。

* お問い合わせ内容を確認の上、根本的な対策をご案内させていただきます。

1) /opt/passlogic/apps/tools/passlogic_archivecleanup.sh を実行

アーカイブ領域の不要ファイルを削除します。

2) passlogic_archivecleanup.sh を実行しても、ファイルが削除されない場合

ent-2.5.0 以前の場合、パッチ t740 を適用の上、再度 1) を実施してください。
t740 のパッチは下記よりダウンロードしてください。

https://www.passlogy.com/download/passlogic-ent-2.5.0_t740_archivecleanup_fixed.zip

3) ストレージの空き領域がなく、データベース(Postgres) が停止している場合

/opt/passlogic/pgsql/archives/ 以下のファイルを削除してください。